



2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月9日

上場会社名 株式会社ハンズマン

上場取引所

東

コード番号 7636

URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 大藺誠司

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役経営企画室長兼経理部長（氏名） 田上秀樹 TEL 0986-38-0847

半期報告書提出予定日 2026年2月12日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

： 有

決算説明会開催の有無

： 有

機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期中間期	17,466	△1.7	474	△23.8	596	△20.4	402	△21.0
2025年6月期中間期	17,765	5.3	622	61.5	749	52.5	508	52.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	29.22	—
2025年6月期中間期	36.63	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期中間期	26,039	18,130	69.6
2025年6月期	25,665	18,102	70.5

（参考）自己資本 2026年6月期中間期 18,130百万円 2025年6月期 18,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年6月期	—	0.00			
2026年6月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	35,050	0.4	1,080	△12.6	1,350	△11.5	910	△11.4	66.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期中間期	14,509,800株	2025年6月期	14,509,800株
2026年6月期中間期	750,200株	2025年6月期	750,200株
2026年6月期中間期	13,759,600株	2025年6月期中間期	13,888,171株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025年7月1日から2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇が継続する中、消費者の節約志向が強まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましては、取引先による商品の廃番や値上げが相次ぐ中、一部の商品群では一時的な欠品による機会損失が発生しておりますが、代替品の発掘や新たな仕入先の開拓を進めることで、品揃えの維持に努めております。あわせて、D I Yアドバイザー資格取得者を大幅に増員し、店舗接客におけるコンサルティング販売能力の向上を図るなど、より多くのお客様にお役に立てる店づくりに取り組んでおります。

当中間会計期間における売上高は、前年同期に地震や台風の発生を背景に防災用品の売上が大きく伸長していた反動に加え、物価高による消費者の買い控えの影響を受け、全店ベースの来店客数は前年同期比98.3%、客単価は同100.0%となり、売上高は同98.3%の174億66百万円となりました。

利益につきましては、原材料価格の高止まりや円安の影響により仕入価格が上昇している一方、販売価格の引き上げを期初の想定よりも抑制したことから、売上総利益率は前年同期比0.5ポイント低下し31.1%となりました。また、減価償却費や光熱費の減少等により販売費及び一般管理費が前年同期比99.3%となりましたが、売上高の減少および売上総利益率の低下の影響が大きく、営業利益は同76.2%の4億74百万円、経常利益は同79.6%の5億96百万円、中間純利益は同79.0%の4億2百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13カ月経過した店舗を既存店、13カ月未満の店舗を新店と定義しており、当中間会計累計期間においては全12店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店（既存店）の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部 門 別	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)		当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
＜D I Y用品＞ ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	9,633	54.2%	9,313	53.3%	△319	96.7%
＜家庭用品＞ 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	5,713	32.2%	5,700	32.6%	△13	99.8%
＜カー・レジャー用品＞ カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	2,417	13.6%	2,451	14.1%	34	101.4%
合計	17,765	100.0%	17,466	100.0%	△299	98.3%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ3億74百万円増加の260億39百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億65百万円、有形固定資産が1億18百万円減少した一方、商品が5億92百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ3億46百万円増加の79億8百万円となりました。これは主に長短借入金が3億99百万円、未払法人税等が2億6百万円、その他流動負債が1億60百万円減少した一方、買掛金が10億15百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ28百万円増加の181億30百万円となりました。これは主に剰余金の配当が4億12百万円あった一方、中間純利益を4億2百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1億65百万円減少の13億77百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、8億39百万円（前年同期は8億98百万円の獲得）となりました。これは主に棚卸資産の増加額が5億93百万円、法人税等の支払いが3億17百万円となったのに対し、税引前中間純利益が5億96百万円、減価償却費が4億18百万円、仕入債務の増加額が10億15百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億62百万円（前年同期は1億28百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億97百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8億42百万円（前年同期は6億13百万円の使用）となりました。これは主に長短借入金の減少額が3億99百万円、配当金の支払額が4億12百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年8月8日公表しました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「2026年6月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当中間会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542	1,377
売掛金	651	750
商品	7,537	8,130
貯蔵品	53	54
その他	248	278
流動資産合計	10,033	10,591
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,308	9,133
土地	2,117	2,197
建設仮勘定	30	42
その他（純額）	1,692	1,656
有形固定資産合計	13,148	13,029
無形固定資産	336	332
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	753	749
その他	1,392	1,336
投資その他の資産合計	2,146	2,085
固定資産合計	15,631	15,447
資産合計	25,665	26,039
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,853	2,869
短期借入金	1,899	1,799
未払法人税等	362	156
その他	1,283	1,123
流動負債合計	5,400	5,948
固定負債		
長期借入金	1,135	835
資産除去債務	728	734
その他	299	390
固定負債合計	2,162	1,960
負債合計	7,562	7,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	16,735	16,725
自己株式	△787	△787
株主資本合計	18,092	18,082
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	48
評価・換算差額等合計	9	48
純資産合計	18,102	18,130
負債純資産合計	25,665	26,039

(2) 中間損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,765	17,466
売上原価	12,150	12,032
売上総利益	5,614	5,433
販売費及び一般管理費	4,992	4,958
営業利益	622	474
営業外収益		
受取手数料	82	80
投資不動産賃貸料	62	62
その他	13	17
営業外収益合計	158	160
営業外費用		
支払利息	7	6
投資不動産賃貸費用	21	21
固定資産除却損	0	9
その他	1	1
営業外費用合計	31	39
経常利益	749	596
税引前中間純利益	749	596
法人税、住民税及び事業税	188	116
法人税等調整額	52	77
法人税等合計	240	194
中間純利益	508	402

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	749	596
減価償却費	447	418
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	7	6
投資不動産賃貸料	△62	△62
投資不動産賃貸費用	21	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△81	△99
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△436	△593
仕入債務の増減額 (△は減少)	728	1,015
その他	△446	△140
小計	926	1,160
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△7	△5
法人税等の支払額	△21	△317
営業活動によるキャッシュ・フロー	898	839
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△159	△197
投資不動産の賃貸による支出	△15	△16
投資不動産の賃貸による収入	62	62
その他	△15	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	△100
長期借入金の返済による支出	△299	△299
自己株式の取得による支出	△365	—
リース債務の返済による支出	△23	△29
配当金の支払額	△424	△412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△613	△842
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	156	△165
現金及び現金同等物の期首残高	1,633	1,542
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,790	1,377

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、ホームセンター事業のみであるため、記載を省略しております。